



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月14日

上場会社名 株式会社イワキ 上場取引所 東  
 コード番号 6237 URL <https://www.iwakipumps.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤中 茂  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 井上 誠 TEL 03-3254-2931  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	21,304	△3.0	1,592	△14.8	1,950	△15.0	1,524	△8.4
2019年3月期第3四半期	21,955	6.1	1,870	6.8	2,293	1.8	1,663	△4.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,188百万円 (△26.8%) 2019年3月期第3四半期 1,624百万円 (△14.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	68.93	—
2019年3月期第3四半期	74.03	—

(注) 当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	29,429	20,018	67.9
2019年3月期	30,463	20,148	65.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 19,988百万円 2019年3月期 19,952百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	12.00	—	16.90	28.90
2020年3月期	—	13.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	17.50	30.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,067	△0.4	2,116	△9.5	2,551	△10.4	1,977	△8.6	89.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	22,490,910株	2019年3月期	22,490,910株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	465,389株	2019年3月期	510株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	22,120,426株	2019年3月期3Q	22,473,928株

(注) 当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内の経済環境は、高水準にある企業収益を背景に設備投資は増加傾向にあり、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、輸出が引き続き弱含む中、通商問題の動向や中国経済の先行き、英国のEU離脱など海外経済の不確実性から、先行きが不透明な状況が続いております。

こうした状況の下、国内においてはユーザーの囲い込み及び顧客要求に応じた製品開発を行い、「CS向上で勝つ」を基本方針に活動してまいりました。また、海外においては世界15カ国21社の関係会社と連携を図り、販売を拡大してまいりました。

その結果、市場別では主に医療機器市場、水処理市場、化学市場が前年同期比増収で推移しました。半導体・液晶市場は、需要が回復しつつありますが、前四半期までの落ち込みを補うまでには至らず不調でありました。関連する表面処理装置市場は、半導体・液晶市場同様回復しつつありますが、弱含みで推移いたしました。

地域別では、国内は、半導体・液晶市場が不調、表面処理装置市場が低調に推移し、その結果、売上高は12,861百万円(前年同期比5.2%減)となりました。欧州地域は、新エネルギー市場が大きく伸び、化学市場が順調に推移し、売上高は2,088百万円(前年同期比2.0%増)となりました。米国は、医療機器市場、化学市場が好調に、また水処理市場が順調に推移し、売上高は3,063百万円(前年同期比9.1%増)となりました。一方、アジア地域は韓国向けの半導体・液晶市場の落ち込み等が影響し、売上高は1,669百万円(前年同期比13.3%減)となりました。また、中国は、医療機器市場が順調であったものの、半導体・液晶市場が不調に推移し、売上高は926百万円(前年同期比1.2%減)となりました。

製品別では、引き続き主力製品である定量ポンプは堅調であり、マグネットポンプも微減ではありますが前年同期並みの水準で推移しました。医療機器市場向けのエアポンプも堅調に推移しております。一方で、半導体関連の本格的な需要回復とまでは至らず、半導体・液晶市場向けの空気駆動ポンプは不調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結売上高は21,304百万円(前年同期比3.0%減)となりました。

利益面では、経費削減に努めたものの売上減収の影響が大きくその結果、営業利益は1,592百万円(前年同期比14.8%減)、経常利益は1,950百万円(前年同期比15.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,524百万円(前年同期比8.4%減)となりました。

また、当社グループはケミカルポンプ事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は20,999百万円となり、前連結会計年度末に比べ440百万円減少いたしました。これは主に電子記録債権が513百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が618百万円、原材料及び貯蔵品が159百万円減少したことによるものであります。固定資産は8,429百万円となり、前連結会計年度末に比べ593百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が623百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、29,429百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,033百万円減少いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は7,737百万円となり、前連結会計年度末に比べ939百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が682百万円、賞与引当金が471百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,673百万円となり、前連結会計年度末に比べ36百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、9,411百万円となり、前連結会計年度末に比べ903百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は20,018百万円となり、前連結会計年度末に比べ130百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が858百万円増加した一方で、自己株式の取得により475百万円、その他有価証券評価差額金が107百万円、為替換算調整勘定が223百万円、非支配株主持分が166百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は67.9%(前連結会計年度末は65.5%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年11月8日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,580,286	5,453,095
受取手形及び売掛金	6,873,408	6,255,014
電子記録債権	2,738,020	3,251,592
有価証券	55,846	81,288
商品及び製品	2,214,986	2,111,096
仕掛品	29,785	155,152
原材料及び貯蔵品	3,522,791	3,363,659
その他	446,732	352,526
貸倒引当金	△21,831	△23,441
流動資産合計	21,440,024	20,999,983
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,304,024	7,332,908
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,646,791	△3,756,039
建物及び構築物(純額)	3,657,232	3,576,868
機械装置及び運搬具	2,676,850	2,766,556
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,247,889	△2,350,496
機械装置及び運搬具(純額)	428,960	416,060
工具、器具及び備品	1,795,534	1,855,505
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,465,444	△1,533,588
工具、器具及び備品(純額)	330,089	321,916
土地	1,041,879	1,037,431
リース資産	338,538	356,576
減価償却累計額	△185,666	△220,144
リース資産(純額)	152,872	136,432
建設仮勘定	11,071	42,050
その他	27,178	28,113
減価償却累計額	△19,444	△20,567
その他(純額)	7,733	7,545
有形固定資産合計	5,629,839	5,538,306
無形固定資産		
のれん	2,772	2,016
商標権	58,573	48,354
その他	132,297	236,662
無形固定資産合計	193,643	287,033
投資その他の資産		
投資有価証券	2,275,208	1,651,660
繰延税金資産	634,431	671,364
その他	290,448	281,260
投資その他の資産合計	3,200,088	2,604,286
固定資産合計	9,023,571	8,429,626
資産合計	30,463,596	29,429,609

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,184,397	4,501,679
短期借入金	951,205	1,149,672
リース債務	64,978	55,117
未払法人税等	250,186	212,524
賞与引当金	881,140	409,952
役員賞与引当金	140,000	49,310
製品保証引当金	97,261	71,008
その他	1,108,559	1,288,570
流動負債合計	8,677,727	7,737,835
固定負債		
リース債務	106,058	99,473
役員退職慰労引当金	51,687	51,687
退職給付に係る負債	659,105	650,870
資産除去債務	184,387	185,658
その他	636,283	686,065
固定負債合計	1,637,521	1,673,754
負債合計	10,315,249	9,411,590
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044,691	1,044,691
資本剰余金	664,691	675,803
利益剰余金	17,687,437	18,545,779
自己株式	△559	△475,730
株主資本合計	19,396,260	19,790,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	232,113	124,461
為替換算調整勘定	241,969	18,856
退職給付に係る調整累計額	81,877	54,329
その他の包括利益累計額合計	555,960	197,647
非支配株主持分	196,127	29,828
純資産合計	20,148,347	20,018,019
負債純資産合計	30,463,596	29,429,609

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	21,955,656	21,304,907
売上原価	14,212,665	13,965,034
売上総利益	7,742,991	7,339,873
販売費及び一般管理費	5,872,765	5,747,203
営業利益	1,870,225	1,592,669
営業外収益		
受取利息	19,327	7,471
受取配当金	20,344	20,874
持分法による投資利益	428,221	326,446
その他	46,340	77,602
営業外収益合計	514,233	432,395
営業外費用		
支払利息	23,119	23,710
為替差損	27,546	32,050
事業所移転費用	30,900	—
その他	9,090	18,732
営業外費用合計	90,657	74,493
経常利益	2,293,800	1,950,571
特別利益		
固定資産売却益	—	9,111
投資有価証券売却益	—	153,234
特別利益合計	—	162,345
特別損失		
固定資産売却損	172	—
固定資産除却損	1,736	1,336
投資有価証券売却損	—	8,756
特別損失合計	1,908	10,092
税金等調整前四半期純利益	2,291,892	2,102,824
法人税等	613,379	555,718
四半期純利益	1,678,512	1,547,105
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,725	22,343
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,663,786	1,524,761

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,678,512	1,547,105
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46,798	△107,530
為替換算調整勘定	△11,410	△145,868
退職給付に係る調整額	7,329	△27,547
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,615	△78,120
その他の包括利益合計	△54,494	△359,066
四半期包括利益	1,624,017	1,188,038
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,609,793	1,166,448
非支配株主に係る四半期包括利益	14,223	21,589

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式484,500株の取得を行いました。また、2019年7月19日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として、当社の取締役(社外取締役を除く)及び幹部社員に対して、自己株式24,376株の処分を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が475,170千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が475,730千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

当社グループは、ケミカルポンプ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。